

イヒナビ

vol.24

ihinavi

旭化成ホームズ株式会社
東京法人支店

【2025年夏、ゲリラ豪雨・猛暑はどうなる？】

～ゲリラ豪雨は増えていく～

7月～9月のゲリラ雷雨は78,000回

～今年も暑過ぎる夏がやってくる～

今年の夏は40度前後の酷暑！

室内熱中症が急増！

【今年もゲリラ豪雨にご注意】

7月～9月間のゲリラ豪雨は なんと78,000回予想



天気予報でお馴染みの「ウェザーニュース」によると、7～9月のゲリラ雷雨は、全国でおよそ78,000回発生するとのこと。過去5年の平均と比べて概ね同程度となり、8月中旬に最も多く発生すると言われています。先日、7月10日には、都内でもゲリラ豪雨が発生し、目黒区では床上や床下がつかる被害が9戸で確認され、世田谷区でも24戸で床上や床下の浸水被害になりました。その他、横浜市ではマンホールが吹き飛ぶなどの被害は発生しました。ゲリラ豪雨は危険であるので、早めに気象情報を確認しておく必要があります。

予測できないゲリラ豪雨！アプリを活用して直撃を避ける！

7月10日の横浜市でマンホールが吹き飛んだ報道の映像を見ると、数秒遅ければ、マンホールがバイクを直撃をしていました。毎年当たり前のようにゲリラ豪雨は発生してくるので、まずは出かけたり移動の際には、アプリを活用することをお勧めします。ウェザーニュースのアプリでは、雨雲レーダーはもちろん、台風やゲリラ豪雨の現在の状況や今後の予報を知ることができます。またANAでも活用されているのが3D雨雲ウォッチです。30秒ごとにゲリラ豪雨の前兆も捉えて通知をしてくれます。なんと過去の的中率は、80%以上だそうです。



車を走行中に、ゲリラ豪雨に遭遇したらどうすればいい？

まずは速度を落として安全な場所で一時停止をすることが大切です。特に注意したいのが高架下やアンダーパスは水没してしまう可能性もあるので十分に気をつけましょう！右のイラストは国土交通省のホームページで紹介されているものです。水没は大変危険です。車の中には脱出用のハンマーを用意しておき、さらに右のイラストの注意点を覚えておいてください。



※国土交通省HPより

【今年の夏の気温はどうなる？】

7月末～8月前半 40度前後の酷暑に注意



ゲリラ豪雨に加え、今年も暑い夏がやってきます。関東甲信越地方では7月23日頃に梅雨明けと予想されています。今年の夏は、チベット高気圧の日本付近への張り出しが強まる時期と弱まる時期があると予想されており、暑さが強まると言われています。夏休みは無理して屋外に出るのではなく、涼しみながら楽しめる場所を選んで出かける工夫が必要です。

今、室内熱中症が急増している！家の中が安全ではない！

熱中症で搬送された人の中には、自宅で熱中症になってしまった人もいます。家の中だから安心とは限りません。例えばお風呂場や洗面所は洗濯機や乾燥機の熱がこもり、湿度も高いので熱中症になりやすい場所です。また、家の2階など上の階には、昼間に上がった気温や湿度が上へ上へと上がり籠ってしまっているのです、窓を開けたり、エアコンをつけて整えておくことが大切です。



入浴後の脱水にも要注意！



またお風呂に入った場合、約800mlの水分が失われると言われています。その状態で温度や湿度の高い部屋にいますと脱水により、熱中症になってしまうので、入浴後は適度な水分補給が大切になります。

また、窓を開けておけば大丈夫と思い、エアコンを付けずに過ごしていたご高齢者が熱中症で搬送されてしまうニュースも多くなっています。今年の夏も辛い暑さになるので気をつけてください。

**HEBEL HAUSの全館空調の家なら室内温度を
一定に保つことができ、さらに健康リスクを軽減します**

HEBEL HAUSのロングライフ全館空調

長い人生を共にする家だからいつもそこに心地良さを



心地よさで家族とくらしを
包み込む

室内環境のさまざまな快適性を叶える3つのシステムで構成

ロングライフ
全館暖冷房
システム

家中どこでも、
いつでも快適な
温度へ

熱交換型
ロングライフ・エコ
換気システム

省エネしながら、
キレイで新鮮な
空気へ

住環境
シミュレーションシステム
ARIOS

光と風の力で、
人と地球環境に配慮した
毎日へ



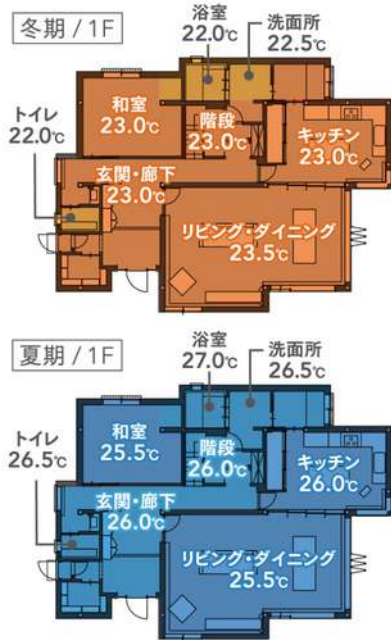
家中どこでも、いつでも、適温へ

季節を問わず、家中どの空間でも24時間一定で快適な温度を保ち不快なエアコンの風も気になりません

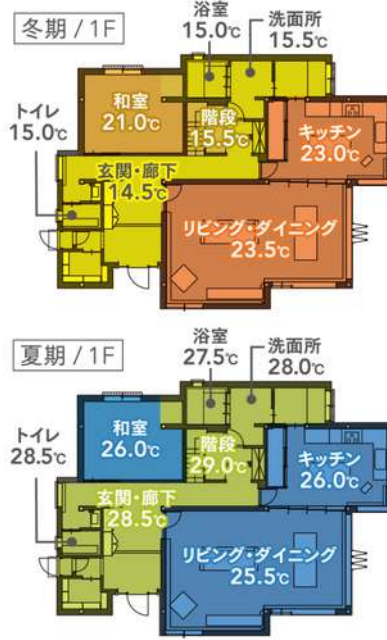
空調の違いによる温度変化

室温シミュレーション（冬期は24.0℃、夏期は26.0℃に設定した場合）

● ロングライフ全館空調

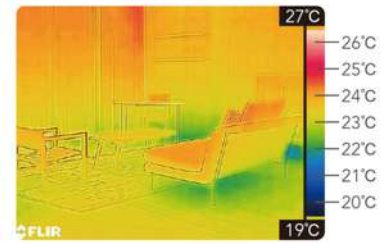


● 個別エアコン



室温サーモグラフィ

● 室内の大部分が約22～25℃に



撮影時期：冬期 設定温度24℃

さまざまな健康リスクを低減

常に快適な温度を保ち、キレイな空気を循環させることで、住居内に潜む健康リスクを低減します。



ヒートショックや
熱中症対策に



足元まで暖かく
冷え性の緩和に



シニア層の
体温調整サポートに



花粉をカットし
アレルギーの予防に

OPTION 湿度の悩みも解消

換気と同時に湿度も調節し、空気循環をより快適に整えます。



多湿によるカビの繁殖を抑制



梅雨の部屋干しも乾きやすく



乾燥による不快感を緩和

※湿度調整は熱交換型ロングライフ・エコ換気システムHGを採用いただいた場合のみ使用できる機能となります。

※個人の感覚であり、効果を保証するものではありません。

＜編集後記＞

今年もまた、暑い暑い夏がやってきます。日中は外出を控え、そして水分補給を行い、さらに室内熱中症にも注意をしなければならぬ季節になりました。

もしご高齢のご家族がいる場合は、お近くに住んでいるのであれば、見守りの機会を設けていただき、遠方にお住まいの場合は定期的にご連絡を入れていただき、エアコンをつけるようにお話ししていただくと良いかもしれません。

熱中症で搬送されるご高齢者はエアコンは光熱費がかかると思われていて、付けない習慣の方も多いそうです。

今回ご紹介させていただいた「ロングライフ全館空調」は、家の中全てを同じ気温・同じ湿度に保つことができます。ですから、この部屋が暑い、この空間が寒い、、、ということがないので快適に過ごしていただけます。

これから家を建てられる場合は、ぜひ、「ロングライフ全館空調」をご検討ください。

詳しく、私たち東京法人支店のスタッフがご説明させていただきますので、小さなことでもお気軽にご相談ください。